

きらめき通信 Vol.10



今回は、日本を担う健全な子どもたちを育成するために、日々奔走されている『周産期ゆりかごネットプロジェクト』のご紹介です。

みなさま、こんにちは。九州大学病院総合周産期母子医療センターの井原健二です。当センターは平成元年5月29日に国立大学医学部附属病院では初の産婦人科・小児科・小児外科が一体となった周産母子センターとして開設され、福岡市都市圏の周産期医療ならびに臨床研究の中心的役割を果たしています。20年目を迎えた平成20年3月18日付で福岡県総合周産期母子医療センターに指定され「九州大学病院総合周産期母子医療センター」と名称が変更されました。現在、母体胎児集中治療室6床、新生児集中治療室15床を含めた病床総数59床の大規模周産期センターとして、母性胎児部門、新生児内科部門および新生児外科部門の3部門から構成される専門スタッフが協力して診療に当たっています。さて近年の周産期医学の発展とは対照的に、我が国における周産期医療体制の諸問題が顕在化し大きな社会的問題となっています。特に周産期医療に関わる医師不足は深刻であり、次世代を担う若手医師の教育環境や女性医師の復職に向けた労働環境と支援体制の整備が喫緊の課題です。問題解決の方策として文部科学省の国家プロジェクト「周産期医療に関わる専門的スタッフの養成」事業が公募され、九州大学が提案した「周産期ゆりかごネットプロジェクト（5年間）」が平成21年度に選定されました。採択された全国15施設（うち国立大学9施設）の中で九州では唯一の「周産期ゆりかごネットプロジェクト」は、人材養成に重点を置いた取り組みであり周産期医療に精通した女性医師を積極的に支援し優秀なスタッフを育成する環境整備に努めています。院内については復職女性医師のみならず若手研修医・看護師の個人個人の知識・技術レベル・専門性などを考慮しながら自由学習可能な各種カンファレンスや講義、周産期の救急医療トレーニング実習等を幅広く開催し、個別スキルアップ教育を行っています。さらに毎月、学外の周産期基幹病院を繋いだインターネットによる双方向型のネットカンファレンスを通して、地域の周産期医療スタッフの専門教育にも配慮しています。このプロジェクトにより九州大学病院に復職した女性医師は3年間でのべ17名となっています。平成24年度から「九州大学病院きらめきプロジェクト」の活動とも交流させて頂き、復職女性医療スタッフのキャリアを維持し向上するための継続的な人材育成と専門教育体制の整備に努めて参ります。皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

九州大学病院 きらめきプロジェクト キャリア支援センター

きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL/FAX: 092-642-5203

2012年7月（隔月発行予定）

MAIL: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

URL: <https://www.kyudai-kirameki.com>

☆自己紹介

卒後15年目の内科系医師です。夫（医師）、5歳男の子（幼稚園年長）、3歳女の子（年少）の4人家族です。

きらめきプロジェクトに応募するまで研修医終了後は大学院生となり、院生四年目で結婚しました。その後、第1子出産前までは、福岡市内で常勤医として勤務していましたが、出産後は週に一回、保健所に行かせていただいていた。第2子出産後は、夫の転勤で二年間福岡を離れていたのので、その間は仕事は全くしていませんでした。下の子が幼稚園に入園するのを機に、この春から少し仕事をしたいと思っていたところ、医局より、きらめきプロジェクトのお話をいただき、応募させていただきました。

☆現在の仕事

きらめきプロジェクトで採用していただき、月曜日午前に、九大病院の外來化学療法室で勤務させていただいています。木曜日は外病院に勤務させていただき、現在は週二回の勤務です。木曜日は夕方までなので、幼稚園が終わった後は、子どもたちは夫の両親宅で預かってもらっています。それ以外の日は、子どもたちの用事や家事などに使えるので、時間的、気分的にも、余裕を持って過ごさせていただいています。

（数年間のブランクがあるので、最近ようやく、この生活パターンに慣れてきたところですが。）

☆最後に

出産、育児と数年間仕事から離れていたこと、子どもたちがまだ幼稚園児であることより、復職するとしても、常勤は無理だと思っていました。今回、このような形できらめきプロジェクトに参加させていただき、私の希望を受け入れてくださった教授をはじめ、医局の先生方には、大変感謝しております。

大学以外の病院でも、このようなプロジェクトが浸透していけば、育児中で仕事を休んでおられる女性医師も、もっと復職しやすい環境になっていくことと思います。

☆自己紹介

こんにちは。卒後3年目の歯科医師です。昨年9月よりきらめきプロジェクトに採用して頂き、全身管理歯科に所属しています。

今年2月に第一子を出産し、4月には主人の仕事の関係で熊本へ転居し、新しい環境で頑張っている最中です。

☆“きらめき”との出会い

私は福岡医科大学を卒業し、九大病院にて一年間の臨床研修を終えて、有病者に対する歯科治療を学びたいという思いがあり、全身管理歯科への入局を希望しました。そこで、後期研修を志願したのですが、定員が1名と少なく採用されませんでした。開業歯科医院への就職も考えましたが、全身管理歯科でぜひ勉強したいという思いが強く、結局研究生として在籍させて頂くことになりました。

新しい生活にも慣れ始めた頃、妊娠が発覚したのです。まだまだ歯科医師としてのキャリアが未熟で勉強途中の私ですので、出産を機にリタイアはしたくありませんでした。

…とそこに、“きらめきプロジェクト追加募集”の知らせを受けたのです。学生として在籍していた私にとってはとても有り難く、応募させていただきました。

これが、私と“きらめき”との出会いです。

☆妊娠・出産・子育て

昨年12月まで、全身管理歯科の皆様のご協力のお蔭で勤務させて頂くことができました。その後産休を頂き、里帰り出産のため実家に帰るとその生活は激変し、話し相手といえば両親と飼っている柴犬くらいで、一日のほとんどを家の中で過ごす生活に変わりました。これまでは、職場のみなさんや患者さんとの時間があることで、私らしくいられたのだなと実感しました。今でも、主婦・母親という立場の前に一人の女性でもあり、私自身が一人の人間として輝ける場所があることで、家庭でもさらに頑張れるのではないかと考えています。今は熊本という新しい土地で、家では息子と二人きりです。独り占めできる幸せもありますが、やはり家庭とは別に、自分らしくいられる場所が欲しいと思いながら生活しています。

☆最後に

7月から週1回勤務に復帰しました。

本当に“きらめきプロジェクト”があるお陰で、歯科医師としても、主婦としても、母親としても未熟な私が仕事と家庭を両立でき、それが私自身のメンタル面で支えとなっています。本当に感謝しています。

これからも、このような素晴らしいシステムが少しでも広がっていけばと願っています。

きらめきプロジェクトからのお知らせ

九州大学病院きらめきプロジェクト

第3回講演会

参加
無料

●日時：平成24年7月11日(水) 18:00~20:00

●会場：九州大学病院 コラボ・ステーション2F 視聴覚室

「人を生かす・自分を生かす」 ～多様な働き方と病院経営戦略～

プログラム

講演時間：18時00分～20時00分

●講演1

「医療提供体制の将来像と医療人材の養成・確保」

九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座

教授 尾形裕也 先生

●講演2

「九州大学病院きらめきプロジェクトと女性医師支援」

九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター

副センター長 榎木 晶子

尾形裕也先生 略歴



1952年 兵庫県神戸市生まれ
東京大学工学部(都市工学科)、経済学部卒業
1978年 厚生省入省
1978年～81年 厚生省年金局年金課
1981年～83年 OECD 事務員(在/ワ)出向
1983年～85年 厚生省大臣官房政策課係長、会計課課長補佐
1985年～86年 厚生省保健医療局老人保健部老人保健課課長補佐
1986年～88年 厚生省健康局国民健康課課長補佐
1988年～89年 厚生省健康政策局指導課課長補佐
1989年～92年 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部一等書記官
1992年～93年 厚生省大臣官房国際課課長補佐
1993年～95年 千葉県環境衛生局長
1995年～96年 厚生省健康政策局看護職員確保対策官
1996年～98年 国家公務員共済組合連合会病院部長
1998年～2001年 国立社会保険・人口問題研究所
社会保険応用分析研究部長
2001年～ 現職
九州大学大学院医学研究院
医療経営・管理学講座 教授

九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター

【お問い合わせ・託児申し込み】

TEL/FAX：092-642-5203

URL：https://www.kyudai-kirameki.com

Mail：kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

主催：九州大学病院

共催：福岡県医師会・NPO 法人九州医療システム研究機構・総合メディカル株式会社・周産期ゆりかごネットプロジェクト

無料託児あります

※1週間前までにお申し込み下さい

参加自由です。
みなさまのご来場お待ちしております♪